

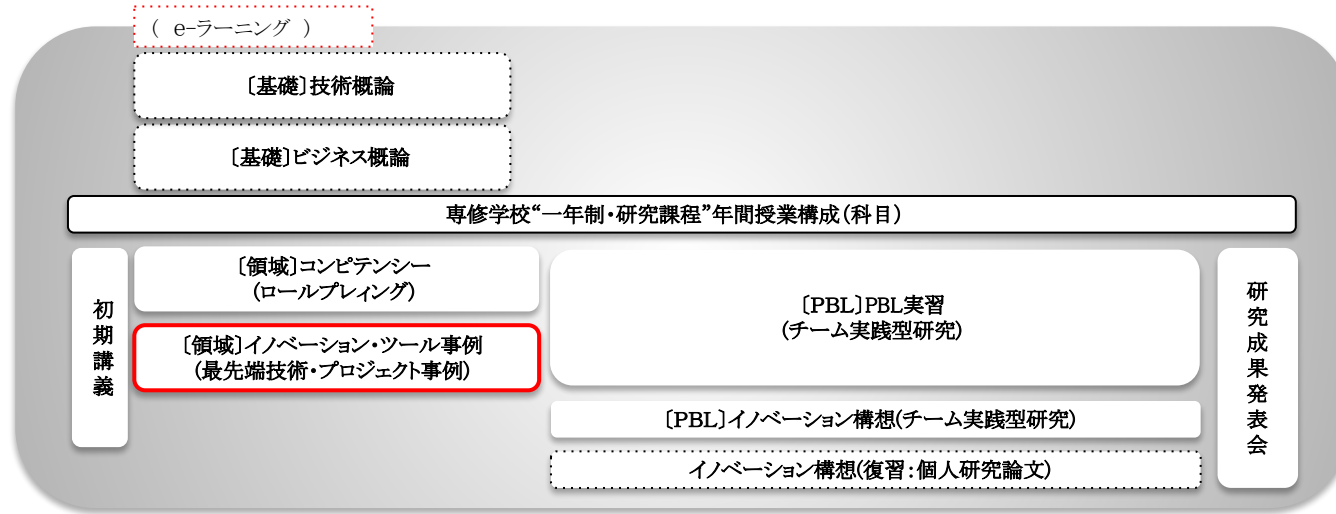
〔領域科目〕 イノベーション・ツール事例

先端事例プラットフォーム

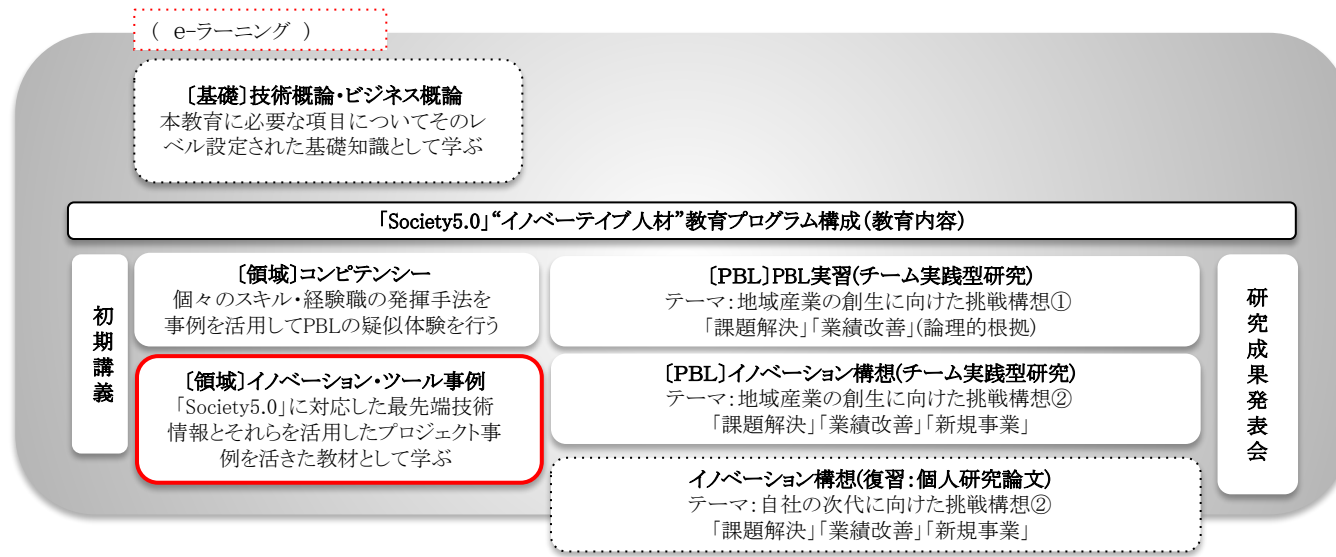
www.jihdo.org/cs

本科目の位置付け

本科目の“一年制・研究課程”の科目構成に於ける位置付けは、基礎教材でレベル合わせをした上で、コンピテンシー領域で役割と力量について学び、PBL領域で構想をまとめていくための重要な鍵となります。日本の産業の次世代に向けた牽引役を担う公的機関や最先端企業の最先端技術やプロジェクト実績事例を各機関や各最先端企業のご協力のもと生きた教材として学びます。



本科目の“一年制・研究課程”の教育内容に於ける位置付けは、全構成科目を学ぶ為の領域項目についてレベル設定された領域知識として学びます。特に本教育プログラムでは、学習すべき内容を“必要情報を入手し理解し自ら創造”することを学びましょう。



世界的環境問題や新型コロナ問題、そして「Society5.0」の到来は、わが国の強みでもあるモノづくり産業のあり方も、それを支援するサービス産業も大きく変革してゆくことが予測されております。そして、この改革に挑戦しない企業は自然淘汰され、それによって地域は一層疲弊し、しいては「技術立国・日本」の座を追われることは事理明白であります。

しかしながら、この改革を推進するためには、その知識・能力をもった「人財」が不可欠であり、その人材育成が急務となっております。今日のテクノロジー進展のスピードは目覚しく、ビジネスモデルの変革に即応した人材育成は、いまや国家的な課題となり、公的機関が主導する形で産業界及び教育界が一致協力して取り組んでいかなければなりません。

これまでは世界的な「技術立国・日本」の評価・信用によって”国も、産業界も、企業”も様々な面で恩恵を受けてくることができました。然し、革新的な最先端技術の急速な進展や第三国の台頭によってその「座」も一気に崩れてきております。

地域の”モノづくり企業”の仕事がなくなれば人は減る、人口が減ればその分サービス業も減る、この悪循環が始まればその流れは止められません。地域産業の創生の視点からも地域の”モノづくり企業”の優秀な何社かが“魅力的新規事業”を展開し、地元の要素技術(企業)を活用できる魅力的プロジェクトの創造・実現が不可欠であります。

本教育ではそれらを“淘汰されない価値創造力”と称し、求められる能力評価指標を分析・設計し、企業に於ける「課題解決の為に」「業績改善の為に」「新規事業の為に」役に立つ様に「もてる知識・業務経験の力としての発揮の仕方」を次世代エンジニアリング業務手法として教育プログラム化して、実践教育を通じて創造力を養成し、自らがその教育成果(イノベーション構想(自社の為の課題解決・業績改善・新規事業))を創造してゆくことを本質としております。

“Society5.0”に日本がどの様に「技術立国・日本」の再興に向けて挑戦しているかを知り・理解し、具体的挑戦のし方をぶことが、それぞれの「目標達成に向けたベクトル合わせ」に通じ、「イノベーション構想」の実現性を高めることに繋がります。

【解説図－1】は、本領域科目の位置付けと“Society5.0”に対応した最先端テクノロジーを駆使し社会的課題解決や企業の課題解決の為に新たなアイデアを創意工夫し、実現した事例(課題・課題手法・効果)までを含めてイノベーション・ツール事例と定義しWEBサイトを活用し調査した結果を技術領域の視点で取り纏め、常に”最新のイノベーション・ツール事例情報”としてスピーディに学習・活用できる様に検索システムで管理・運用を可能としました。

(注意事項)

本領域教材は本教育プログラムの目的・主旨をご理解し、ご協力をいただける日本の公的機関や最先端技術企業のご厚意によって正式にWEBサイトにリンクし常に最新の様々な最先端技術・実績事例を学ばせていただくことができます。

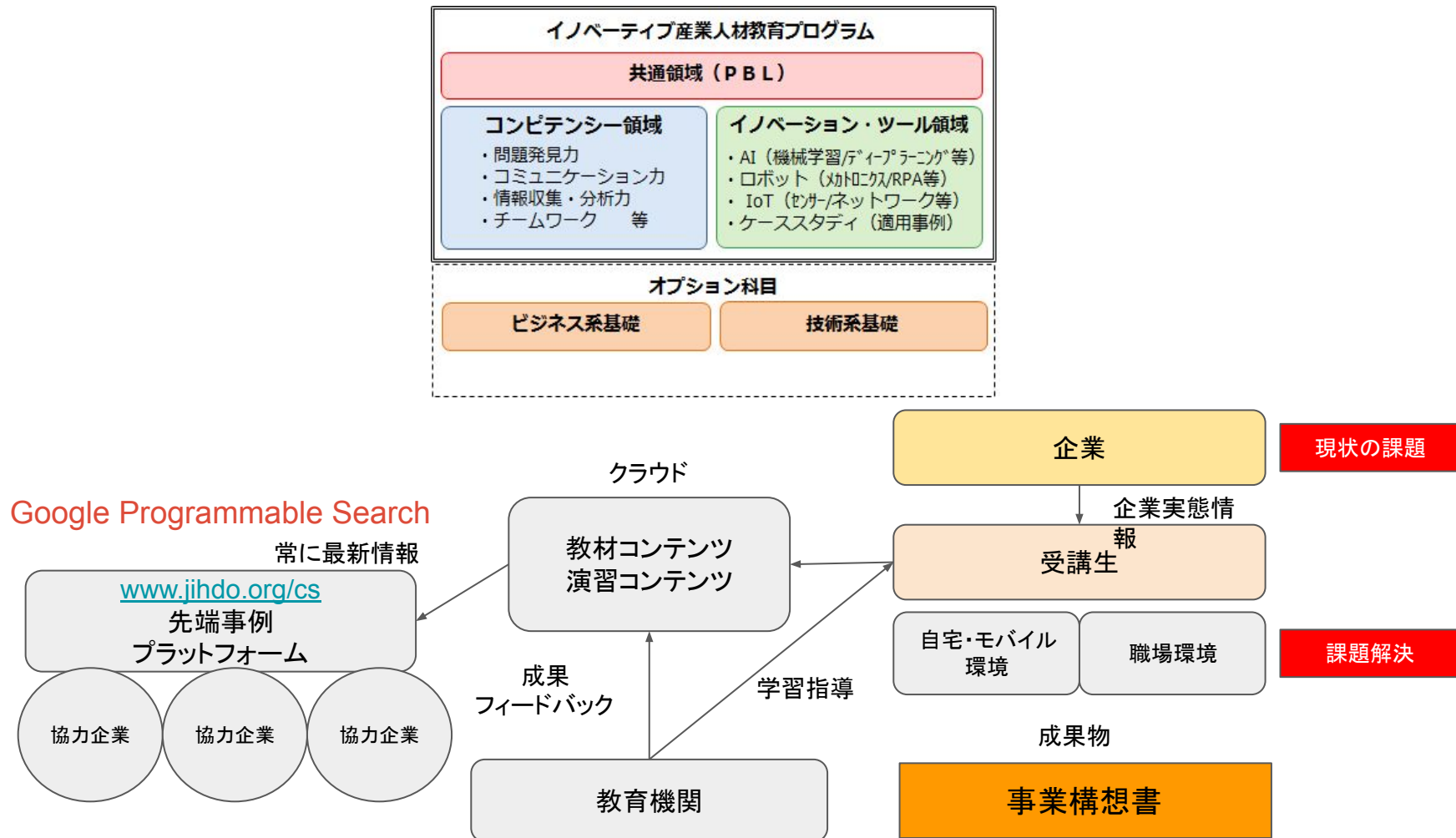
したがって、WEBサイト上の活用規約を熟読し、絶対にご迷惑をかけない様に閲覧してください。特に、WEBサイト上で紹介されている実績事例の“画像”や“文面”をコピー活用したりすることは「法律」でも禁じられているとともにご支援いただいている公的機関や最先端技術企業に対する裏切り行為であり絶対やってはいけません。

文科省事業への先端事例の提供協力

解説図-1

目標人材像

IoTやAIなどのイノベーション・ツールを駆使しながら、社会課題の中に潜んでいるニーズを拾い、それに応えるために情報収集、プロジェクト・チーム結成をし、推進することができる人材



目次

1、「文科省」教育システムの高付加価値化

P-6

2、「企業創生」に向けた戦略的挑戦構想

3、イノベーション・ツールの定義・領域

P-9

4、イノベーション・ツール事例区分と学習事例

5、日本の公的機関の実績事例を学ぶ

P-12

6、日本の最先端技術企業の実績事例を学ぶ

7、その他の最先端技術企業の実績事例を学ぶ(1)

8、その他の最先端技術企業の実績事例を学ぶ(2)

1、「文科省」教育システムの高付加価値化に向けて

〔解説図－2〕は常に世界的動向を視野に日本の政策・指針が定められ、経済・産業の視点で政策実現に向けた具体的施策を設定し、その実現に向けて産業界を指導・支援しつつ牽引する公的機関が存在します。

これらの公的機関はこれまでも数々の世界的課題の解決に向けて先駆的な挑戦・実現・成功実績を積み重ね、「技術立国・日本」を創造し支え続けてきた真の立役者です。
本科目では、これらの課題解決プロジェクトの先端実績事例を生きた教材として学びます。

また、著しいスピードでの技術革新や第三国の台頭もあり、いまや「技術立国・日本」の立ち位置も崩れる一方で、日本の産業界（民間企業）も指針「Society5.0」にいち早く対応すべく公的機関プロジェクトへの参画、更には独自の最先端核技術開発を通じて先駆的“イノベーション・ツール”を研究・開発し、既に様々な課題解決型イノベーションを起こしている最先端技術企業が存在します。

これらの最先端核技術は課題の解決に向けた“イノベーション構想”の創造の際に必要な核要素技術として不可欠なものとなるとともに、これらの最先端核技術の活用・応用・新要求仕様の創造が”構想”策定の重要な鍵となります。

本科目では、これらの“イノベーション・ツール事例”を生きた教材として学びます。〔先端事例プラットフォーム〕

〔解説図－3〕はモノづくり企業に求められる人材の能力（スキル・力量）“淘汰されない価値創造力”の具体的内容について構図化しています。

本構図では、“イノベーション構想”創造に際しての視点と次代に向けた挑戦構想化に対する基本的考え方について学びます。

モノづくり企業を取り巻く経営環境下で、売上の見通し、それに伴う利益、そして将来の事業の為に何をなすべきかについて下記の項目について見極め対策を講じる必要があります。

☆アト何年もつのか、どうすれば少しでも長く時間的猶予をつくれるか

☆その為には計画利益を何としても確保したい、計画利益の確保を阻害する要因とは何なのか、どうすれば対策を講じられるか

☆この許される期間に自社を活かした将来に向けた新商品・新規事業を創造・実現すべき具体的内容とはどのようなものなのか

☆自社に「Society5.0」に対応したこれらの挑戦構想を自ら調査・分析・創造し構想化できる人材はいるのか

しかも、このまま何もせず手をこまねいていると自然淘汰されることは「事理明白」なのですが、経営者が判断・決断するためには論理的根拠をもった挑戦構想が求められます。

更には、いかに素晴らしい評価を獲得した挑戦構想であっても「技術的課題」「資金的課題」などで実現が叶わないことが考えられます。

これまで実現された先端実績事例から“視点”“課題”“課題解決”“成果・効果”等から「何故、実現できたのか」について、生きた教材として学ぶことができることは限りなく挑戦構想の実現性を高めることに繋げられることを意味しています。

“世界的ビジネスルールの変革”(課題・動向・技術革新)

大義名分

次世代のあるべき姿の創造・実現

日本の課題

日本の政策・指針「Society5. 0」

“技術立国・日本”の再興に向けて

「人材育成」「業績改善」「地域産業の創生」「技術立国・日本の再興」

「技術立国・日本の再興」には戦略的ベクトル合わせが必要

※ご理解・ご協力をいただく公的機関

- 【NEDO: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】
- 【中小機構: 独立行政法人中小企業基盤整備機構】
- 【JETRO: 独立行政法人日本貿易振興機構】

協力

※ご理解・ご協力をいただける最先端技術企業

- 【株式会社東芝: AI/IoT/ロボット関連技術・他】
- 【株式会社NTTドコモ: 5G関連技術・他】
- 【NTTインフラネット株式会社: 衛星画像/衛星通信技術・他】
- 【ソフトバンク株式会社: 5G関連技術・他】
- 【富士通株式会社: AI/IoT/ロボット関連技術・他】
- 【(NEC) 日本電気株式会社: AI/IoT/ロボット関連技術・他】
- 【オムロン株式会社: 各種センサー関連技術・他】
- 【株式会社東陽テクニカ: 音振動解析/水中ロボット関連技術・他】
- 【その他の最先端技術企業】

協力

目標とすべき挑戦の姿・内容

- [学ぶべき本質がここにある]
- ☆何の為に(課題解決)
- ☆何に取り組んでいるのか(テーマ)
- ☆どのような解決手段・手法(技術)
- ☆どのような体制で(プロジェクト体制)
- ☆どのような日程で(スケジュール)
- ☆開発成果(課題解決の成果)
- ☆効果・メリット・他

「Society5. 0」

〔領域教材〕イノベーション・ツール事例の本質

「文科省」専門学校“一年制・研究課程”研究成果(イノベーション構想)

評価基準・手法

構想審査会
(二次審査)

実現支援枠

“構想”発表
(一次審査)

推薦枠
(ご相談)

地域コンソーシアム

「企業創生」に向けた戦略的挑戦構想

解説図-3

“世界的ビジネスルールの変革” (課題・動向・技術革新)

大義名分

次世代のあるべき姿の創造・実現

日本の課題

日本の政策・指針「Society5.0」

“技術立国・日本”の再興に向けて

コンピテンシー・マネジメント・システム
”淘汰されない価値創造力”
(価値創造力養成型・実践型研修)

「人材育成」「業績改善」「地域産業の創生」「技術立国・日本の再興」

自分の為に

組織の為に

業績改善の為に

新規事業の為に

”役に立つ為に
必要なスキル・力量”

常に世界的動向を視野に日本の政策・指針が定められ、経済・産業の視点で政策実現に向けた具体的施策を設定し、その実現に向けて産業界を指導・支援しつつ牽引する公的機関が存在します。

【NEDO: 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

【中小機構: 独立行政法人中小企業基盤整備機構】

【JETRO: 独立行政法人日本貿易振興機構】

業績推移

能力評価指標

新規商品
領域

既存商品
領域

現状業績

売上

利益

コスト

経営課題

企業挑戦支援

追加コスト

このままで
どの位もつの

新規事業
新技術開発

【NEDO】

海外進出

【JETRO】

課題解決
業務効率化

【中小機構】

新規事業
課題解決
業務効率化

【地域コンソーシアム】

”イノベーション構想”
(課題解決・業績改善・新規事業)

課題解決アイデア

ビッグ
データ

ロボット
(安全に人の
手間を省く)

自社
技術

先端
技術

IT
IoT

日本の最先端技術企業

著しいスピードでの技術革新や第三国の台頭もあり、いまや「技術立国・日本」の立ち位置も崩れる一方で、日本の産業界(民間企業)も指針「Society5.0」にいち早く対応すべく公的機関プロジェクトへの参画、または独自の最先端核技術開発を通じて先駆的“イノベーション・ツール”を研究・開発し、既に様々な課題解決型イノベーションを起こしている最先端技術企業が存在します。

【株式会社NTTドコモ: 5G関連技術・他】

【NTTインフラネット株式会社: 衛星画像/衛星通信技術・他】

【ソフトバンク株式会社: 5G関連技術・他】

【富士通株式会社: AI/IoT/ロボット関連技術・他】

【(NEC) 日本電気株式会社: AI/IoT/ロボット関連技術・他】

【オムロン株式会社: 各種センサー関連技術・他】

【株式会社東陽テクニカ: 音振動解析/水中ロボット関連技術・他】

【その他の最先端技術企業】

〔業績改善・挑戦手法例〕

- 1、自社の戦略人材育成(常に変化を見極め対応可能な人材育成)
- 2、品質保持型の計画利益確保(マネジメント力強化(業務・危機・人材))
- 3、既存商品の新規需要の創造(海外展開・技術移転)
- 4、自社を活かせる 戦略的新技術・新商品・新規事業の創造(機能仕様設計力)

3、イノベーション・ツールの定義・領域

[解説図-4]は“イノベーション・ツールの定義”そして“領域区分”の調査結果を示します。

☆“イノベーション・ツールの定義”・・・先端テクノロジーを駆使した社会的課題解決や企業の課題解決の為に新たなアイデアを創意工夫し、実現した事例(課題・解決手法・効果)までを含めてイノベーション・ツールと称する

☆“領域区分”・・・イノベーション・ツール事例をWEBサイトを活用した調査結果、以下の技術主体の視点で領域化されている

- I :「5G」次世代通信コラボレーション領域
- II :AIデジタル トランス フォーメーション領域
- III :AI+IoT・ロボットによるソリューション領域
- IV :世界が認める日本の最先端テクノロジー領域
- V :日本の最先端技術領域
- VI :その他の領域

4、イノベーション・ツール事例区分と学習事例

[解説図-5]は上記の各領域をWEBサイトを活用した調査結果からイノベーション・ツール事例の定義に沿って、以下のソリューション区分の視点で学びます。

- 1、AI ソリューション ケーススタディ(ソフト・ソフト+ハード) (AIの概念・論理構造・事例)
- 2、IoT・ロボット ソリューション ケーススタディ(AI+IoT・ロボットの概念・論理構造・事例)
- 3、社会 ソリューション ケーススタディ(社会の課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 4、企業 ソリューション ケーススタディ(企業の課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 5、特殊 ソリューション ケーススタディ(特殊テーマ課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 6、日本のモノづくり技術 ケーススタディ(日本の最先端技術や基礎技術など)

モノづくり企業等におけるIoT、AI等のイノベーション・ツールを活用したビジネスの効率化や新ビジネスの創出に関わる事例を下記の手順で収集した。

①イノベーション・ツールの定義

最先端テクノロジーを駆使し社会的課題解決や企業の課題解決の為に新たなアイデアを創意工夫し、実現した事例(課題・解決手法・効果)までを含めてイノベーションツールと称する

②イノベーション・ツールの論理構造



③イノベーション・ツールの領域区分

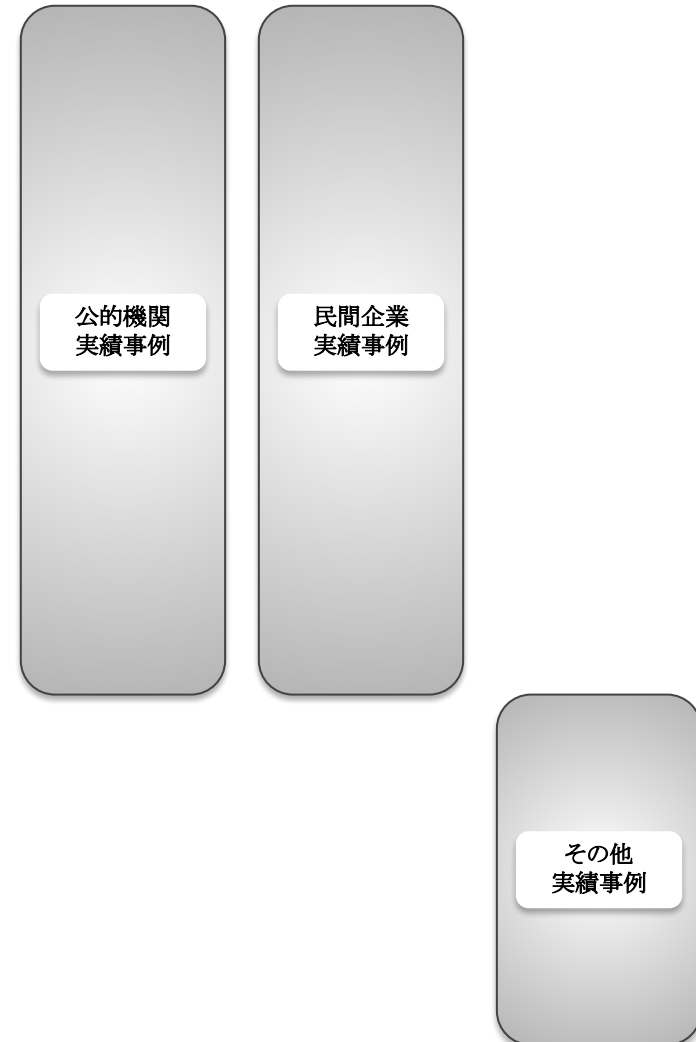
イノベーション・ツール事例をWEBサイトを活用し調査した結果、以下の技術主体の視点で領域化されている

I	「5G」次世代通信コラボレーション領域
II	AIデジタル トランス フォーメーション領域
III	AI+IoT・ロボットによるソリューション領域
IV	世界が認める日本の最先端テクノロジー領域
V	日本の最先端技術領域
VI	その他の領域

- 1、AI ソリューション ケーススタディ(ソフト・ソフト＋ハード) (AIの概念・論理構造・事例)
- 2、IoT・ロボット ソリューション ケーススタディ(AI＋IoT・ロボットの概念・論理構造・事例)
- 3、社会 ソリューション ケーススタディ(社会の課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 4、企業 ソリューション ケーススタディ(企業の課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 5、特殊 ソリューション ケーススタディ(特殊テーマ課題解決事例の概念・論理構造・応用手法)
- 6、日本のモノづくり技術 ケーススタディ(日本の最先端技術や基礎技術など)

- (1) AIソリューションについて学習する
 - ① AIソリューションの定義
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)
- (2) IoT・ロボットソリューションについて学習する
 - ① IoT・ロボットソリューションの定義
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)
- (3) 社会ソリューションについて学習する
 - ① 社会ソリューションの定義(国家的課題・地域的課題)
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)
- (4) 企業ソリューションについて学習する
 - ① 企業ソリューションの定義(社会的課題への民間企業・新規事業挑戦)
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)
- (5) 特殊ソリューションについて学習する
 - ① 特殊ソリューションの定義(モノづくり企業の枠を超えた価値のある課題解決)
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)
- (6) 日本のモノづくり技術について学習する
 - ① 日本のモノづくり技術の定義
 - ② 事例紹介リスト(目的・効果・応用他)
 - ③ 概念情報(ウェブサイト)
 - ④ 論理構造情報(ウェブサイト)
 - ⑤ 事例紹介先企業(ウェブサイト)

イノベーション・ツール事例学習事例



5、日本の公的機関の実績事例を学ぶ

〔解説図－6〕はこれらの公的機関はこれまでも数々の世界的課題の解決に向けて先駆的な挑戦・実現・成功実績を積み重ね、「技術立国・日本」を創造し支え続けてきた真の立役者です。

本科目では、以下の各機構のご理解・ご協力を頂いた課題解決プロジェクトの実績事例を生きた教材として学びます。

【NEDO:国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構】

【中小機構:独立行政法人中小企業基盤整備機構】

【JETRO:独立行政法人日本貿易振興機構】

6、日本の最先端技術企業の実績事例を学ぶ

〔解説図－7〕はこれらの最先端核技術企業の課題の解決に向けた“イノベーション・ツール事例”は“イノベーション構想”の創造の際に必要な核要素技術として不可欠なものであり、これらの最先端核技術の活用・応用・新要求仕様の創造が重要な鍵となります。

本科目では、以下の各機構のご理解・ご協力を頂いた課題解決プロジェクトの実績事例を生きた教材として学びます。

〔株式会社東芝:AI/IoT/ロボット関連技術・他〕

【株式会社NTTドコモ:5G関連技術・他】

【NTTインフラネット株式会社:衛星画像/衛星通信技術・他】

【ソフトバンク株式会社:5G関連技術・他】

【富士通株式会社:AI/IoT/ロボット関連技術・他】

【(NEC)日本電気株式会社:AI/IoT/ロボット関連技術・他】

【オムロン株式会社:各種センサー関連技術・他】

【株式会社東陽テクニカ:音振動解析/水中ロボット関連技術・他】

【その他の最先端技術企業】

7、その他の最先端技術企業の実績事例を学ぶ(1)

〔解説図－8〕はWEBサイトを活用した調査結果の「5G次世代通信コラボレーション(移動通信)」「AIデジタル トランスフォーメーション」について学びます。

8、その他の最先端技術企業の実績事例を学ぶ(2)

〔解説図－9〕はWEBサイトを活用した調査結果の「AI+IoT・ロボットによるソリューション」「世界が認める日本の最先端テクノロジー」について学びます。

公的機関の最先端技術・プロジェクト実績事例	
公的機関名	閲覧:WEBサイト
【NEDO】 国立研究開発法人新エネルギー・産業技術総合開発機構	サイト利用について https://www.nedo.go.jp/qinf/copyright.html (1) NEDO研究開発マネジメントガイドライン NEDOが実施する「研究開発プロジェクト」 研究開発マネジメントガイドライン (2) NEDO実用化ドキュメント NEDOプロジェクトにより開発された技術 https://www.nedo.go.jp/hyokabu/index.html (3) Focus NEDO https://www.nedo.go.jp/library/pamphlets/kankobutsu_pamphlets_kouhou_syoseki_index.html
【中小機構】 独立行政法人中小企業基盤整備機構	(パンフレット) https://www.smri.go.jp/org/about/services/fr94k000000109s-att/20200514_kikoupamplet.pdf (総合ハンドブック:) https://www.smri.go.jp/ebook/smri_totalhandbook_2020/html5.html#page=1
【JETRO】 独立行政法人日本貿易振興機構	(ホームページ) https://www.jetro.go.jp/

日本の最先端技術・プロジェクト実績事例	
企業名	閲覧:WEBサイト
株式会社東芝	<p>東芝グループが発信するニュース https://www.toshiba.co.jp/about/press/</p> <p>東芝のAI技術ご紹介 https://www.toshiba.co.jp/tech/ai/</p> <p>東芝グループの先端技術開発 http://www.toshiba.co.jp/tech/review/</p> <p>世の中×東芝のトレンド https://www.toshiba-clip.com/</p> <p>東芝のCyber Physical Systemsテクノロジー https://www.toshiba.co.jp/iot/</p> <p>東芝のデータビジネス https://www.toshiba-data.co.jp/</p> <p>IoTプラットフォーム(ifLink) https://www.toshiba-sol.co.jp/pro/iflink/</p> <p>ICTソリューション https://www.toshiba-sol.co.jp/case/index_i.htm</p>
株式会社NTTドコモ	NTTドコモ 法人のお客様ページ https://www.nttdocomo.co.jp/biz/
NTTインフラネット株式会社	NTTインフラネット www.nttinf.co.jp
ソフトバンク株式会社	https://teqs.jp/5gxlab
富士通株式会社	「FUJITSU JOURNAL」 contact-journal@cs.jp.fujitsu.com
(NEC) 日本電気株式会社	NEC jpn.nec.com > profile > corp
オムロン株式会社	<p>弊社の技術論文集 https://www.omron.co.jp/technology/omrontechnics/index.html#booklet</p> <p>弊社の企業活動を記事として紹介している「 Edge&Link」 https://www.edge-link.omron.co.jp/</p> <p>弊社 制御機器事業の HP(ソリューションのタブにいろいろな事例紹介を掲載しております) https://www.fa.omron.co.jp/ https://www.fa.omron.co.jp/solution/</p>
株式会社東陽テクニカ	東陽テクニカ- "はかる"技術で未来を創る www.doyotech.com

その他の最先端技術企業の実績事例を学ぶ(1)

解説図-8

最先端テクノロジーの領域とその活用事例(イノベーション・ツール事例)			
【5G】次世代通信コラボレーション(移動通信)		【AIデジタル トランス フォーメーション】	
5Gを活用した「人型ロボット」による遠隔作業システム	https://global.toyota/jp/detAI/19666327	テキスト合意認識 (文の同意味の判定)	https://jpn.nec.com/AI/analyze/text.html
5Gでつながるオンラインセッション	https://www.yamaha.com/ja/news_release/2019/19021501/	異種混合学習 (規則性の発見)	https://jpn.nec.com/AI/analyze/pattern.html
5Gを活用した新しいスポーツ観戦体験	https://www.nttdocomo.co.jp/special_contents/beyond2020/future_report/article/article_50-2/	インバリエント分析 (センサー間の不変的關係性のモデル化)	https://jpn.nec.com/AI/analyze/invariant.html
5Gを活用した建設機械の遠隔操作システム	https://news.kddi.com/kddi/corporate/newsrelease/2018/12/14/3527.html	RAPID機械学習 (ディープラーニング)	https://jpn.nec.com/AI/analyze/rapid.html
人類資産のデジタル化	https://2020.nit.jp/innovation/usecase/03.html	自律適応制御 (ヒトやモノの全体最適)	https://jpn.nec.com/AI/analyze/jiritsu.html
人の流れを解析	https://2020.nit.jp/innovation/usecase/02.html		

最先端テクノロジーの領域とその活用事例(イノベーション・ツール事例)			
【AI+IoT・ロボットによるソリューション】		【世界が認める日本の最先端テクノロジー】	
ドローン (水空両用、深度400m潜水、3D トラッキングとAIで自律飛行)	https://www.drone.jp/news/20180906161436.html	パワーアシストロボット ロボットスーツ(HAL)	http://www.daiwahouse.co.jp/robot/hal/
顔認証・行動検知 (安心・安全)	https://jpn.nec.com/solution/face-recognition/index.html	高機能イメージセンサー 色鮮やかな撮影	https://www.sony.co.jp/SonyInfo/News/Press/201201/12-009/
需要予測 (日配品、部品、電力)	https://jpn.nec.com/AI/solution/value.html		
検品・検査 (出荷・個品・目視検査)	https://jpn.nec.com/press/201706/20170621_04.html	榎本 藻 人工的に化石燃料を作り出す	http://ggt.co.jp/company.html
心臓シュミレーター	http://www.fujitsu.com/jp/about/brandmanagement/brandstory/technology/heartdisease/	人工DNAインク 偽造防止技術	https://www.gov-online.go.jp/eng/publicity/book/hlj/html/201502/201502_10_jp.html
自動運航船	https://journal.jp.fujitsu.com/2018/07/17/01/		
ARグラス (ウェアラブルテクノロジー)	https://journal.jp.fujitsu.com/2018/10/22/09/	スーパーコンピュータ 一秒間に一京回の演算性能	http://www.fujitsu.com/jp/about/businesspolicy/tech/k/
キャッシュレス決済	http://pr.fujitsu.com/jp/news/2018/10/4.html		
【日本の最先端技術領域】		【その他の領域】	
日本の最先端技術	https://www8.cao.go.jp/cstp/siryo/haihu75/siryo1-2-2.pdf	薄型ディスプレイ	https://www.flexenable.com/technology/flexible-olcd/
		海水淡水化プラント	https://www.nedo.go.jp/content/100867775.pdf
日本の技術	https://matome.naver.jp/odai/2149092443175636601	ホウ素中性子補足療法	http://jsnct.jp/about_nct/index.html
		各メーカーの各業務効率化支援 ツール	http://www.soumu.go.jp/menu_news/s-news/02tsushin02_04000043.html

令和2年度 文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」委託事業

Society 5.0等対応カリキュラムの開発・実証
「モノづくり産業におけるイノベティブ産業人材養成プログラム開発事業」

実施委員会委員

駒込和貴	公益財団法人 国際人財開発機構 理事
児玉紀裕	学校法人 大原学園 事業部長
武田陽一郎	学校法人 大原学園
石原明人	学校法人 田中育英会
飯田有登	学校法人 東京町田学園 理事・教頭
渡邊康祐	学校法人 滋慶文化学園 教務部長
久保全弘	愛知県立愛知総合工科高等学校専攻科 責任者
田浦久美子	国立大学法人 群馬大学 研究・産学連携推進機構 高度人材育成センター 特任教授
千葉武彦	NDIソリューションズ株式会社 部長
池内信弘	日本プロジェクトソリューションズ株式会社 部長
増田洋一	株式会社第一コンピュータサービス 代表取締役
後藤貴徳	レッツスポーツ株式会社 代表取締役
齋藤桂三	有限会社ケッツグループ 会長
小湊宏之	川崎市工業団体連合会 ICT連携担当理事
小間田興二	NPO法人ECML21 特別顧問
山本武	川崎市経済労働局 産業振興部 工業振興課 課長(オブザーバー)
江津裕美	川崎市経済労働局 産業振興部 工業振興課 係長(オブザーバー)

令和2年度 文部科学省「専修学校による地域産業中核的人材養成事業」委託事業

Society5.0等対応カリキュラムの開発・実証
「モノづくり産業におけるイノベティブ産業人材養成プログラム開発事業」

【領域教材】イノベーション・ツール事例

令和3年2月

公益財団法人 国際人財開発機構
東京都千代田区霞が関3丁目6番14号